



# さくら



校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立152年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】

学校教育目標「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」 重点目標「認め合い、伝え合う子」 文責：小川

## よりよい学校を目指して



日頃より桑村小学校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

学校では、7月に行った児童、保護者、教職員による学校生活に関するアンケート結果を基に、職員会議、また、学校応援団会議（学校関係者評価委員会の機能を含む）において話し合いを行い、よりよい学校を目指して改善を加えた教育活動を夏休み明けから行ってきました。これらの状況をふまえ、今回の後期のアンケート(12/8〆切)へのご回答にご協力いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

### ☆令和7年 前期アンケート結果と考察☆

注:前回より3%以上高かった(○)  
前回より3%以上低かった(■)

函南スタンダード※町内園・小・中学校で共通の目標		児童	保護者	学校
1	進んであいさつをする	94.1	84.4	81.8
2	めあてをもって、挑戦し続ける	91.2	87.5	90.9
3	運動、音楽、芸術、行事など、夢中になって取り組めることがある	97.1	100	100
4	読書を楽しむ	85.3	57.8	90.9
5	ふるさと「桑村」のよさを知る	◎ 97.1	◎ 100	100

◆1.あいさつについては、“されたら返す”段階である。子供たちも「気持ちのよいあいさつができる」ことをよい姿だと思い描き、桑っ子活動で学年ごとの挨拶運動を行うなどしたが、持続が難しい。今後さらに“自分から進んであいさつをする”姿を目指し、家庭や地域とともに指導を継続していくたい。4.読書においては、3者間で相違が見られた。本校は基本的に毎日、読書の時間を設けているが、意欲としては2極化している。本の帯づくり等、国語の学習とも関連させたり、委員会活動、マルベリーさんや保護者による読み聞かせ等の協力もいただいたりしながら、地道に児童と本とをつなぐ活動を継続している。5.ふるさとの設問は、身近な地域のよさや魅力を感じられるようになってほしいとの思いから、設問をふるさと「函南」→「桑村」に変えた。引き続き、ご家庭や地域の方々とともに、地域のよさを伝えていきたい。

つけたい資質・能力		児童	保護者	学校
1	桑村小のよさを感じている	95.6	◎ 100	◎ 100
2	聴き・話すこと大切に、学校生活を送っている	92.6	89.1	72.7
3	自分の思いを大切に、授業に取り組んでいる	92.6	96.9	100
4	自分と相手を大切にして、よりよく行動している	92.6	◎ 98.4	72.7

◆今年度も、5つのつけたい資質・能力を明確にして、授業や行事などの教育活動を進めている。児童の数値が高いことは、つけたい資質・能力を意識して学校生活を送ることができていると考えられる。

2.聴く・話すことについては、話を最後まで聞くことができないために、話し手と聞き手の間でズレが生じるところがある。各自が思い思いの反応をしたり、自分の思いをもてたりすることはいいが、重点目標「伝え合う」ことを意識すると、もっと身に付けていきたい力であると考える。児童が時と場を意識してわきまえていくような指導を、今後も継続していく。

児童の様子（学習面）		児童	保護者	学校
1	学習内容を理解	91.2	81.3	100
2	家庭学習の定着	97.1	93.8	100
3	楽しい授業	88.2		100

◆学習内容の理解や家庭学習の定着は、ご家庭での学習の見取りがなされて学習状況を保護者に理解してもらっていることで数値が伸びたものと思われる。今後も1人1台端末を効果的に活用しながら、「学びタイ」と意欲や見通しをもてるような課題の設定や、学びを実感できる「振りカエル」場の設定を通して、学びの充実を進めていきたい。

児童の様子（生活面）		児童	保護者	学校
1	学校は楽しい	80.9	98.4	100
2	みんなのために働く	95.6		90.9
3	桑っ子活動は楽しい	88.2	98.4	100
4	健診後の受診（受診中）		90.6	
5	安全な生活・登下校	95.6	100	100

◆今回、1.学校は楽しいの項目が下がり、背景や今後の方針について職員間で協議した。人間関係のトラブルに隨時対応しているが一つ解決したからといってすぐに変化するものではなく、日々の対応を丁寧にしていくことを継続していく。また、“楽しい”を表面的な捉えではなく、満足感や達成感を含めた“楽しい”を味わえるようにしたい。また、異学年と関わる桑っ子活動が盛んなことが、桑村小学校の強みと言える。そのため、縦割の桑っ子

グループで行う桑っ子清掃や桑っ子遊び、桑っ子マルシェ、また、図工や生活科の作品を介しての交流などの学年間の交流をさらに活発にし、別学年や様々な職員から認められる場面を設定してきた。一方、2.みんなのために働くの評価が児童・教職員ともに昨年度よりも向上した。係や委員会活動などで進んで働く姿への見届けや励まし・価値付けが、児童のさらなる意欲にもつながっていると思われる。

学校（先生）の様子		児童	保護者	学校
1	児童理解に基づいた支援・指導	95.6	100	100
2	地域・保護者との連携	95.6	98.4	100
3	親身になった対応（学校への信頼感）	94.1	100	100
4	学校の様子を伝える	95.6	92.2	90.9

◆保護者の皆様、地域の皆様の支えのおかげで、高い数値となった。4.学校の様子を伝えるは、HP やお便りで大人が学校の様子を伝えるよりも、児童自身が発信者となつて学校の様子を伝えられるようになってほしいとの意図から、項目を「家人と学校の話をする」に変更した。今までのスタイルと変わったことにまだ慣れない部分が数値からは感じ取れる。すぐにやり方を戻すのではなく、改善を加えながらも、育てたい力を意識して取り組みを続

けていきたいと考えている。また、学校のホームページでは、学校での学習や生活の様子は随時発信を続けている。今後も情報を公開し、児童の様子を共有していきたい。2.地域・保護者との連携については、今年度は運動会の運営にも地域・保護者のボランティアの方々に関わっていただいた。また、1年を通して桑村道場（水曜放課後実施の学習支援）や読み聞かせ（マルベリーの皆様方）の教育活動や、奉仕作業や桜の剪定などの環境整備において、地域の皆様、PTA の皆様に大変お世話になっている。（いつもありがとうございます！）

学校の体制（チーム担任・教科担任）		児童	保護者	学校
1	様々な先生との関わり	88.2	93.8	
2	先生達が自分の良いところを認めている	94.1	100	
3	教科担任制は、よい	91.2	95.3	90.9
4	困ったとき頼れる先生が増えた	89.7		

◆今年度からチーム担任制と教科担任制を始めたばかりであり、この学校に合ったスタイルに落としていくのはこれからである。今回のご意見を生かして、いい形につなげていきたい。



このような地域、保護者の皆様のご支援に応えることができるよう、「チーム桑村小」を取り組んでいきます。今後も、よろしくお願ひいたします。